

第19回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰動画を公開

一般社団法人 日本損害保険協会（会長：白川 儀一）は、第19回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」（※）の入賞22作品について、審査員からの講評および入賞団体の活動の様子や受賞の感想などをまとめた表彰動画を公開しました。

審査員長の室崎 益輝氏（神戸大学名誉教授 兵庫県立大学特任教授）からは、今回の応募作品の総評として、「大人が考えた従来の防災の盲点・問題点を子どもたちが問い直すことで、誰でも安心できる防災対策の道が見えてきている」、「年々、子どもたちを中心にした安全マップの取組みが進化していることが感じられる」といったコメントがありました。

また、本動画の公開にあわせ、今回の応募作品の傾向や応募団体などを取りまとめた冊子「入選作品集」についても公開しています。本動画および本冊子は、各学校などでの表彰や全校発表会などで活用いただけるように、入賞団体に贈呈します。学校安全（防災・防犯・交通安全教育）に携わる先生方にもご覧いただき、安全教育の一助となることを願っています。



<室崎審査員長からの各受賞作品講評>



<受賞団体の活動の様子>



<入選作品集>

表彰動画、入選作品集はこちらからご確認いただけます。

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/archive/index.html>

※ぼうさい探検隊について

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちがまちを探検しながら、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、マップにまとめる実践的安全教育プログラムです。子どもたちの防災意識の向上や地域コミュニティの強化を目的として実施しています。2004年から毎年、マップコンクールを開催し、作成したマップを表彰しています。第19回となる今回のコンクールでは、全国の小学校、子ども会、児童館など410団体から6,137人が参加し、1,179作品が寄せられました。